

科目コード	記号	科目名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
2464	BS03	経営管理論：Management Theory	3B	2・90分	必修	講義・通年	履修単位
教員名		陳 韻如(Chen Yun-Ju)					
<p>授業概要</p> <p>経営管理の思想は工場から発展してきた。これは、現代企業の経営基盤がどのように整備され、なぜある特定のやり方になったのかなど、それぞれに時代の背景と深く関わっていることを意味している。前期では、そのような歴史的な背景を意識しながら、企業が成り立つ仕組みや、具体的な管理対象について勉強していく。後期では、企業の主な活動範囲の市場に注目する。そこで、競争という概念が登場する。市場で競争を勝ち抜き、環境の変化に対応するためにどのような行動を採ればいいのかという問題は、企業にとって大きな関心事である。それに関する理論は、競争への対応を説明する「戦略論」と、外部との関係をマネジメントする「組織間関係論」の2つの流れに集約される。この2つの流れから、企業が競争を勝ち抜くための戦略や経営環境の変化に対応していくシチュエーションを検討する。</p>							
到達目標				評価方法			
(1) 企業内部の管理について具体的なイメージを形成してもらうこと。 (2) 講義を通じて、自分が周囲への洞察を深め、他者と関わりながら判断をくだす「目」を養うこと。				前後期の中間試験(50%)と期末試験(50%)、場合によって、レポートの提出もある。			
学習・教育目標		(C)②	JABEE基準1(1)		(d)-(1)		
前 期				後 期			
回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
第1	イントロダクション	経営管理論を学ぶことの意義と目的を説明する。		第16	産業と競争	企業の活動範囲や競争の意味について説明する。	
第2	経営管理の発展と課題	経営管理論の起源と課題について、イギリスの「歴史的皮肉」から説明する。		第17	経営戦略とは	企業が環境に対応するために、戦略を立てる。戦略の条件や種類などについて説明する。	
第3	専門経営者の時代	経営者がなぜ重要になってきたか、所有の経営(支配)の分離から説明する。		第18	製品のライフサイクル	製品には寿命がある。そのライフサイクルに合わせて戦略をどのように考えるかについて説明する。	
第4	科学的管理法	経営管理の起源とも言われる科学的管理法を中心に説明する。		第19	多角化戦略	企業が成長するために、ほかの事業にどのように多角化をはかるかを説明する。	
第5	管理の原則	管理の中身とは何か、ファヨールの管理過程論から説明する。		第20	競争戦略①：業界構造分析	競合同士を勝ち抜くための競争戦略について、業界を知るというアプローチについて説明する。	
第6	なぜ働くのか	伝統的管理論への反発から、人間が働く意義を見直そうとする人間関係論について説明する。		第21	競争戦略②：コアコンピタンス	競争戦略について、企業内部の能力構築という視点から説明する。	
第7	経営組織の論理	組織はなぜ結成されるか、その論理について説明する。		第22	組織間関係とは	組織は必ず他組織となんらかの形で関係してくる。関係が形成される仕組みについて説明する。	
第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。		第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
第9	組織のデザイン	組織構造の設計理念ならびに諸類型について説明する。		第24	提携のロジック	組織間関係の1つである提携について、提携が行われる目的と仕組みを具体的に説明する。	
第10	マーケティング管理	企業内部の資源を分類して、「モノ」の販売に関わるマーケティングの管理について説明する。		第25	提携のマネジメント	提携が形成された後、提携企業間の関係がどのように変化していくのかを説明する。	
第11	生産管理	「モノ」の生産に関わるコンセプトとシステムを説明する。		第26	メタコンペティション	競争のレベルがネットワークに発展していくなか、企業がどのように競争相手と協力しながら競争していくのかについて説明する。	
第12	人的資源管理	「ヒト」という資源の確保は如何に行われるかを説明する。		第27	コンプライアンス管理	企業の社会的責任が問われる現在、企業がどのように行動するかについて説明する。	
第13	財務管理	「カネ」という資源の運用を説明する。		第28	非営利組織の管理	企業以外に、営利を目的としない組織もある。そのような組織における経営管理の必要性や特徴について説明する。	
第14	情報管理	「情報」伝達の仕組みについて説明する。		第29	日本の経営管理	日本的経営の成立背景と特徴について、外国からの評判に基づいて説明する。	
第15	前期試験	理解度や目標到達度を確認する。		第30	後期試験	授業評価アンケートを行い、理解度や目標到達度を試験で確認する。	
関連科目	経営学概論、経営史概論、経営組織論						
教科書	特になし。授業中に教材を配布する。						
参考書	『経営学を楽しく学ぶ』(斎藤毅憲編著、中央経済社)						
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員	朴唯新先生						
備考							